

- ◆県業界の総力を挙げて“新たな顧客獲得競争”に対処
- ◆全国初の都市ガス圏内常時供給、「L P 119」が実現

古川武法会長あいさつ

本日は定時総会を開催したところ、このように多くの会員の皆様にご参会いただいて盛大に開催でき、厚く御礼を申し上げます。また、本日は神奈川県の和田安全防災局長を始め加藤工業保安課長、さらには消費者の代表として神奈川県消費者の会連絡協議会の今井代表理事など、多くのご来賓にご参集いただきました。公私ご多忙の中、誠に有り難うございました。常日頃より当協会の活動に深いご理解とご協力をいただいていることに、当協会の会長として厚くお礼を申し上げます。

さて、エネルギー業界では平成28年4月からの電力の小売全面自由化、また平成29年4月からはガスの小売全面自由化が決まっており、今後は電気とガスによる熾烈な顧客獲得競争が予想されています。規制の緩和の下でのこの自由化は、L Pガス販売業界に大変重要な節目となります。このような時だからこそ、会員の皆様を始めL Pガスに携わっておられる方々全ての力を結集していろんな課題に対応していくかなければなりません。これまで以上に皆様方のご支援ご協力をお願ひいたします。

皆様方のご協力によりまして、横浜市内の都市ガスエリア内にある地域防災拠点に、L Pガスの常時使用ができることになりました。いろいろな経緯がありますが、横浜支部の支部長さんを始めとした皆様方のご協力によりまして、全国で初めて共同受注、共同販売ができるようになり、厚くお礼を申し上げます。

また、皆様方の懸案であった「L P 119」は、今年度からスタートできることになりました。これも横浜市内の会員が一つになって取り組んでいただいた結果が実ったと言えます。「都市ガスなら東京ガス、電気なら東京電力に相談すれば、全て解決する。しかし、L Pガスはどこに連絡したらいいのだ」。そこで、消費者相談所の役員の方々とも相談して一本化を進め、今年度に実現することができました。これも全国で初めてのことなので、運用にいろんな意見が出てくるかと思いますので、スムーズに進められるよう皆様のご協力をお願いしたいと思います。

さて、取引の適正化ですが、今年度は全L協から新たな販売指針が示されています。この件につきましては、全L協に神奈川県の意見をいろいろ述べましたが、なかなか思うようなものにできません。皆様も販売指針を読んでいろんな考えられるかと思います。いまL Pガスの料金の透明性について消費者から言われているわけですが、私は皆様方が販売しているガス価格は決して高くはないと思っています。世界で一番大きな東京ガスと分散型でやっている我々のL Pガスが同じ価格になるはずがないし、その都市ガスでさえも、一番安いところと高いところでは3倍もの価格差があります。ですから、“高い”と言われたら、保安や配送の費用がかかっていることなど、自分たちの価格がどういう形で

できているかを消費者にきちんと説明していくよう徹底していただきたい。

ナショナルブランドの一部の業者が一般の販売店のお客様のところに行って、安い価格で売り込み、その後半年、1年で値上げする。そして、またほかのところに行っては安い価格で勧誘し、顧客を切り替える。こうしたこともしょっちゅう起きているので、お互いに理解し合って、適正な方法、価格で販売し合えるようにしたいなと思っています。そのために、私自身が率先して取り組み、徹底していくようにしていきたいと考えています。

本年度の取り組みや予算については、お手元にある定時総会議案にいろいろと記載しています。短い時間ではありますが、積極的にご意見を出していただき、ご審議いただくようお願い申し上げます。（総会前の「会長あいさつ」より）